

第1回日本マスターズ柔道 優勝

佐々木安廣 教授

平成16年12月3日に静岡県浜北市で開催された第1回日本マスターズ柔道大会で、本学の佐々木安廣教授が55歳-59歳、73キロ級に出場。全試合オール1本勝ちし、見事頂点に立った。佐々木教授は「生涯スポーツとしての柔道は、日本では普及が遅れている。勝ち負けより底辺拡大の上で意義ある大会。しかしながら第1回目の大会で優勝できたのは大変うれしい。2005年にはカナダで世界マスターズが開かれる予定で、できれば出場し上位を目指したい。」と意欲を覗かせていた。



地域講演会 賢治の飲酒観紹介

藤原隆男大学院教授講演

2月15日に石鳥谷町立図書館において、「第18回宮沢賢治講演会」が開催され、本学の藤原隆男教授が「宮沢賢治と酒」と題して講演された。講演会は、石鳥谷賢治の会主催として開催され、会員のほか関心のある多くの町民も出席し盛会であった。講演内容は、賢治の飲酒観の変化、酒の密造の論議と取締りの論議などを柱に、藤原隆男教授のこれまでの研究成果と賢治像などを多面的に分析しながら進められた。



岩手日誌 H17.2.28掲載

平成16年度高校・大学連携

「ウィンターセッション」開催

岩手県内4大学（岩手大学、岩手県立大学、富士大学、盛岡大学）と岩手県教育委員会が主催して、岩手県内の高校生に大学生活を体験させることを目的とした「ウィンターセッション」が12月25日から27日までの3日間、県内4大学で開催された。これは、高校生の進路指導の一環として、大学生活を体験することで将来の進学や学部選びの参考にし、進路選択を誤らないものになせ、同時に大学進学にあたってはこれまでに以上に目的意識をもって進学させようとするものであり、このことは、大学の活性化という観点からも好ましいことであり、各大学と教育委員会が協力しての取り組みである。

本学には、県下の11校から18名の高校生が参加し、大学の1コマ90分の講義に3日間、大変熱心に

取り組んでいた。

本学のテーマは「うるおいと活力のある経済社会を目指して」と題して、「良いとは？悪いとは？そしてそれがなぜ変わるのか？」「コンビニエンスストアに秘められた謎」「現代社会と法的思考」「世界経済の見方ー現状と課題ー」「共生社会とボランティア」の7講座を行い、実社会と経済の関係について、解かり易く講義され、高校生も経済活動について興味がわいたようで終始熱心に、また、楽しそうに受講していた。将来受講生の進路選択の力になるものと思う。



OBから一言

第15回卒業生
石毛 茂さん
銚子プラザホテル
営業部宴会課 支配人



私は、大学を卒業して23年が経ち、千葉県銚子市JR銚子駅前の銚子プラザホテルに勤務する者です。大学時代の思い出は、とにかく「寒い」ということです。温暖な銚子で生まれ育った私にとって、花巻の寒さは身にしみました。ホテルとの出会いは大学4年時の就職活動の際、在学中より始めたスキーをもう少し楽しみたいと考え、スキーの出来る長野県のリゾート会社に就職をし、そこでホテル勤務を命ぜられたのがホテルとの出会いでした。そこで3年を過ごし、地元銚子で初めての本格的都市型ホテルが建設中という話を耳にし、地元に戻って現在に至っております。初めは、ホテルマンは覚える事が多く、いつになったら「これでいい」「これで一人前だ」と思える日が来るのかな、と思う毎日が続き、大変な職業に感じたものだと思ったりもしました。最近わかった事ですが、この思いは一生続くものだとと自覚しはじめています。

仕事、人生、遊び、何でもそうですが、「これでおれは一人前だ」などと思ってしまつとつまらなくなり、さびしくもなります。否定的なものの見方をしていた自分に、最近になりやっと気が付いたのです。向上心、改善意識、目的意識を持ち、常に前を見て生きて行こうと考えています。ホテル内でいろいろな人との出会いがあり、いろいろな場面で仕事をやる為にも、一般的な受け答えはお客様は望んでいません。一つ上に行くサービス心を掛け、これからはホテルマンとして仕事をしたいです。銚子でも新設の大学があり、ホテルにも多数の学生がアルバイトにきています。挨拶ができない人、会話のできない人、いろいろな学生がいます。大卒というのは学歴ではなく、その個人の体験の多さや知識量だと思います。学歴だけの大卒にならない様に有意義に学生生活を送ってください。

第4回全国高校生童話大賞 表彰式

時代を担う若者たちの力と想像力を伸ばす一助にと、全国の高校生に「童話」という自由な表現の場を提供することを目的として実施し、4回目となる「全国高校生童話大賞」の表彰式が、平成16年12月26日に本学において開催された。応募作品数1,355篇の中から選ばれた大賞と優秀賞の4名の受賞者とその保護者の方々を迎えての表彰式である。

受賞者は、大賞（金の星賞）は埼玉県栄東高校2年生の岡安茉莉花さん、優秀賞（銀の星賞）は福島県光南高校2年生の矢吹優衣さん、第3回では大賞に輝き2年連続受賞となる栃木県作新学院高校2年生の山本晴佳さん、そして東京都白百合学園高校1年生の土屋絵美さんである。

式は、来賓にNHK盛岡放送局放送部長高橋孝様をはじめ、多くの方々の出席のもと、受賞者一人一人に表彰楯

と副賞が贈られた。

審査員を代表して牛崎敏哉先生からそれぞれの作品について講評があり、受賞者一人一人から作品の創作に関わるエピソードなどが披露され、今後の創作活動への意欲を一層強くしたようでした。式の後、花巻農業高校の鹿踊り部の演舞を観賞し、昼食後、宮沢賢治ゆかりの施設などを見学した。



大賞 岡安茉莉花さん



平成16年度 主な就職先

■建設業
東北ミサワホーム
ハシモトホーム
東日本ハウス
■製造業
アマタケ
おひろかーうホリウ(株)
北日本印刷(株)
宮川ローラー(株)

エスビック
タイキョク
旭鋼管(株)
佐藤製線販売(株)
■情報通信業
創利コンピュータサービス
ソフトバンクBB
光通信
トム通信工業

■運輸業
日本通運
ヤマト運輸
サカイ引越センター
■卸小売業
小田島
山形中央水産
丸増ベニヤ商会
ファルケン東北

青山商事
杉沢薬品
富士薬品
カガク興商(株)
ビュー
ホームック(株)
カインズ
ホンダプリモ若手南(株)
岩手S/V自動車(株)
トヨタカラー栃木(株)
山形ダイハツ販売

ヨークベニマル
■金融業
青森銀行
野村証券
三貴商事(株)
日本交易
北上信用金庫
第一生命保険相互会社
三井生命保険相互会社
■不動産業
レオパレス21

プリンススクエア
■飲食・福祉
ウェルランド
ひまわり訪問看護ステーション
■教育・学習支援授業
NOVA
ELBEC教育図書センター
■複合サービス業
千葉みらい農業協同組合
東京むさし農業協同組合
ホクレン農業協同組合連合会

■サービス業
セントラル警備保障
綜合警備保障
ユカ
平山
日専連北上
■公務
花北青雲高等学校
陸上自衛隊

故 青木伸先生を偲ぶ

富士大学前理事長青木伸会長が、去る1月13日午前4時47分東京都内の病院で、肺炎のため逝去されました（享年78歳）。葬儀は1月20日、東京において近親者のみにて執り行われ、大学葬として「偲ぶ会」が2月11日、花巻市内のホテルグランシェール花巻で行われました。

青木会長は、昭和52年に富士大学に事務局長として着任され、昭和60年に専務理事、そして、平成8年に理事長に就任され平成15年会長となりました。その間、昭和62年の校舎5号館（図書館棟）建設に始まり、平成5年に6号館、平成7年に武道館及び野球場、平成10年には情報化の進展に対応するためメディア棟を新築する等、教育内容

充実のため、施設・設備を整えられました。更に、雪に閉ざされる冬場においても、学生が十分活動できる環境をつくるため、日本一を誇るスポーツセンターを建設し、今日の富士大学のスポーツ振興の基を築き上げると共に地域スポーツの振興にも力を注がれました。

学部の充実に関しても、平成10年経営法学科を、平成15年には経営情報学科を増設し、高等教育の充実尽力したほか、一橋大学から著名な先生方をお迎えし、指導陣の充実した大学院を設置するなど、大学の発展

平成17年度学事予定表

4月	在学生ガイダンス・履修登録・健康診断等 …(4日～8日) 入学式 ……………(9日) 前期授業開始……………(11日) 新生ガイダンス・履修登録・健康診断等(11日～15日) 新入生学外オリエンテーション …(21日・22日)
5月	教養演習旅行……………(11日)
6月	スポーツフェスティバル……………(16日)
7月	図書館専門職員養成講習開始(19日～9月13日) 前期補講日 前期授業終了日……………(22日) 前期定期試験 ……………(25日～8月2日)
8月	夏季休暇 ……………(3日～9月9日) 図書館専門職員養成講習司書補開講式……(27日)
9月	父母懇談会 花巻まつり ……………(9日～11日) 後期授業開始……………(12日) 図書館専門職員養成講習終了……………(13日)
10月	紫陵祭準備日 ……………(7日) 紫陵祭……………(8日・9日)
11月	演習発表会……………(22日)
12月	冬季休暇 ……………(12日～1月6日)
1月	集中講義期間 後期授業再開……………(10日) 大学入試センター試験 ……………(21日・22日) 後期授業終了日……………(19日) 後期定期試験 ……………(24日～2月1日) 創立記念日……………(25日)
2月	春季休暇 ……………(2日～3月31日) スキー実習・図書館実習 後期再試験 ……………(13日～18日)
3月	卒業判定 ……………(1日) 卒業式

広報 富士大学 ●連絡先は広報室まで 原久雄(広報室長) 井手俊一(広報役) 小田桐憲仁(千葉夕里) Email: kouhou@fui-u.ac.jp

FUJI UNIV. INFORMATION CONTENTS.....

富士大学

Vol.15

2005.3.31 発行

大学院／経済・経営システム研究科
経済学部／経済学科・経営法学科・経営情報学科
〒025-8501 岩手県花巻市下根子450-3 TEL0198-23-6221 FAX0198-23-5818 http://www.fuji-u.ac.jp/



巣立ち

卒業式・学位記授与式

「私達は、大学で学んだ知識と学友と結んだ友情の心を「力」として、若さ溢れる無限の行動力で、この社会に挑戦します。」と、力強く噛み締めた卒業生代表の柳原聡明君の唇には、4年間の学生生活を締めくくりに相応しい笑みが溢れていた。平成16年度卒業式・学位記授与式は、3月19日、本学記念体育館にて行われ、経済学科、経営法学科の学部総代の神智裕君に卒業証書が、そして大学院経済・経営システム研究科の第一期修了者を代表して、大学院の大崎透君に修士学位記が授与された。小山田学長をはじめ、ご来賓の渡辺勉花巻市長、新田忠誓一橋大学大学院教授からはなむけのことばを頂き、先生方一人一人と握手をし、万感胸に母校を巣立った。卒業生が式場を出ると、待ち受けた多くの部の後輩達の歡喜の渦に包まれ、惜しむかのように手荒なお祝いを受けていた。卒業生の皆さん、大学は、皆さんの活躍を期待しています。また、これからも応援します。



学部総代 神智裕君

卒業生にエールを送る

経営法学科長 石橋 恕篤
卒業おめでとう。新しい門出に際して皆さんに二つのことを要望したい。まず、皆さんを長期間にわたり支えてきたご両親に感謝の意を伝えていただきたいということである。子どもの行く末を案じない親はいないのである。つぎに、皆さんは、大学生生活中に就職のことを考えたことと思う。できれば就職は一流企業にしたい。しかし、重要なことは、どこに就職するだけではなく、どんな仕事をしたいかに重点をおいて考えるべきである。一流企業であればどこに配置されてもいいというわけではないだろうから。真の職業生活は、どんな仕事をしたいのかということに対する自覚からはじめなければならない。自分の能力を発揮できる仕事につけば、すぐれた実績を示すことも可能で、本人の充実感も高まることながら、採用した企業にとっても望ましい人物を得たことになる。入社してから定年までいろいろの部署をまわりながら最後の数年間を部課長で過ごすことは安定したサラリーマンの生き方だが、若い皆さんの納得するところではないだろう。「一流会社でなくても、一流職業人になろう」と決意し、日々努力するならば、活気と発展があるにちがいないし、これはそのまま国家の繁栄にもつながることであろう。どうぞ皆さん、一流職業人になるという気概に燃え、職務に精励されんことを希望する。



この紙は再生紙を使用しております。

学長表彰

平成16年度「学長表彰者」を紹介します。

【学業成績優秀者】

神智裕君
若生圭一君
佐原辰徳君
柳原聡明君
根城早織さん
三田康智君

【課外活動優秀者】

柳原聡明君（学友会）
山田和利君（学友会）
根城早織さん（陸上競技部）
田中久美子さん（陸上競技部）
佐藤瑞穂さん（柔道部）
高橋平君（柔道部）
大滝与志美君（サッカー部）
石田恵さん（バスケットボール部）

【学術論文優秀者】

柳原聡明君
「改正商法と資本取引に係る
会計原則との関係」



大学院修了生から…

大崎 透 君

一期生として大学院に入学し、学部との違いに戸惑いながらも、先生方のご支援を受け修了を迎えることができました。大学院での2年間、素晴らしい先生方に恵まれ、多岐にわたる分野で知識の研鑽に励むことが出来、また学会や講演会を通じて、新たな知識や興味を持つことが出来、有意義な時を過ごすことが出来ました。単位の修得と論文の作成の両立が厳しい時期もありましたが、それを乗り越えられた事は、今後の自分にとって必ず役に立つと思います。



持った、仕事に必要な何々の知識を得たといった場面は必ず来ると思います。その時に、2年間大学院で培った力を発揮することが出来ればと考えています。学部生、大学院生の皆さんも論文だけではなく、一つの事柄に集中して取り組む時間を作ることが大事だと思います。達成して得られた力は、今後必ず役立つものになると私は思います。

大学入試センター試験 実施

平成17年1月15日・16日の2日間、全国各地において、大学入試センター試験が実施されました。本県の実験会場として、本学が実施するのは今回が4回目となります。

本学が会場となった受験生は、昨年同様、花巻北高校、花巻南高校、黒沢尻北高校の皆さんで、早朝から試験会場に訪れる受験生達は、自分たちの受験教室を確認し、試験時間まで控え室でリラックスした様子で待機していました。

学部卒業生から…

柳原 聡明 君

「アノネ がんばんなくてもいいからさ 具体的に 動くことだ」
相田みつをさんの言葉です。自分の期待通りの答えが出るかどうかは別として、具体的に動けば、必ず具体的な答えが出るということです。大学入学時の私には、頑張らなきゃ意味が無いと思っていたため、この言葉の意味を理解できませんでした。しかし、今の私は、わかります。

私は、大学4年間学友会執行委員として、紫陵祭やスポーツフェスティバル、部活動の予算折衝など色々なことを行ってきました。仲間と協力し、一生懸命頑張って活動してきました。行事が近づけば、夜中の2時、3時まで行事について話し合い、必要なものを作っていました。はっきり言って、辛かったです。ですが、そのときの私は、とにかく頑張るしかないと考えていました。

しかし、人間というものには楽を求めます。そのうち、やることを後回しにするようになり、結果、何も進



まなくなっていました。そんな時、「まず、やれることをやれ！！行動しろ！！」とある方に喝を入れられました。初めは、嫌々でしたが、まず行動してみると、うまく進み出し、成功という結果を出しました。

この経験から、私は「勉強もやれることをまずやる。」をモットーにして大学生活を過ごしました。結果、自分の納得のいく成績を修めることができました。悩んでいても何も始まりません。だから、決断し具体的に動いてみて下さい。必ず良い答えが出ると思います。

留学生奮闘中！

拝超 君

多彩な人生に挑戦

三年前留学生として日本に来ました。この三年間、富士大学で日本語のほかにいろいろな知識を教えてもらいました。知識面を広げたと同時に自身の無知ももっと感じました。そして若い時に頑張らないと、年を取った時に、絶対に悔やむと考えました。そこでしているなことに挑戦することを決めました。

最初は英語のTOEIC試験でした。初めて受けたときには、成績はあまりよくありませんでした。その時、筑後先生から力をもらいました。「600点以上頑張らましょ」と勧められ、教科書も貸してもらい、勉強する方法も教えてもらいました。そして私は単語とlisteningに集中し勉強して、TOEIC試験で頑張りました。

チャレンジはまだこれからで



す。留学生生活全体として、徳、学、体、芸、労の全ての面で向上するように大学での指導を受けて、素質を伸ばすように頑張りました。豊かな人生をつくっていきたくと思っています。

私の、短期的なチャレンジは、今年の日本語能力試験を受け、いい成績も得ることです。長期的には、富士大学の大学院で勉強をつづけ、専門の研究をし、認められる結果が出るまで頑張ります。

FUJI UNIV. SPORTS CLUB

Spring Camp ～各クラブ全国各地で展開～

サッカー部

2月19日(土)～3月31日(木)、沖縄県での合宿を皮切に、各都道府県を遠征しながら、強化合宿を行った。

また、3月4日(金)から6日(日)に開催された第19回デンソーカップチャレンジサッカー新居浜大会へ北海道・東北代表として本学より佐藤義幸(3年)、白澤実(2年)、高橋慎太郎(2年)3名が選ばれ出場した。



沖縄合宿



デンソーカップ・前列右から1番目が白澤君、後列左から2番目が高橋君。

ソフトボール部

2月19日(土)から3月31日(木)まで三重県を中心に、強化合宿が行われた。強化合宿中の3月10日(木)に行われた、第7回実業団・大学女子ソフトボール春季研修大会「熊野オープン」順位決定戦で、東海学園大学を8対0で敗り8位となった。

3月19日～21日、阪神オープン戦
富士大学 9-1 園田学園女子大学
富士大学 0-4 大谷女子大学
富士大学 4-2 東海学園大学
富士大学 3-2 大阪国際大学B
富士大学 1-2 神戸親和女子大学
富士大学 5-6 大谷女子大学A
3勝3敗



準硬式野球部

●3月6日(日)～12日(土)
強化合宿(静岡・伊東市営かどの球場)
●3月13日(日)～17日(木)
関東遠征
(慶応義塾大、法政大、専修大、神奈川大)
●3月25日(金)～27日(日)
関東遠征(中央大、東洋大、宇都宮大)



陸上競技部

男子

●2月20日～24日
東北福祉大と合同合宿(千葉)
●2月25日～27日
山梨学院大と // (山梨)
●2月28日～3月3日
金沢星稷大と // (金沢)

女子

●3月3日～10日
沖縄



その他のクラブ

硬式野球部 ●2月27日～3月14日 沖縄県渡嘉敷島にて
ハンドボール部 ●3月11日～3月13日 早稲田大学にて
剣道部 ●3月2日～3月5日 3月9日～3月12日 青年の家にて
柔道部 男子 ●2月21日～3月3日 国際武道大学にて
女子 ●2月23日～3月2日 ニュージーランドにて
●3月4日～3月12日 筑波大学にて

ホッケー部 男子

●3月8日(火)～11日(金) 山梨学院大と練習試合

女子

●3月3日(木)～6日(日) 山梨学院大と練習試合

大会結果

ホッケー部

東日本大学対抗戦

平成17年3月24日～27日(法政大学グランド)

男子 第3位 富士大学 3-3 山梨学院大

富士大学 2-2 法政大学

富士大学 0-2 東京農業大

富士大学 10-1 東京農大オホーツク校

卓球部

岩手県総合団体卓球選手権大会

平成16年12月12日(岩手県宮体体育館)

男子6年連続8回目の優勝 女子6年連続7度目の優勝

決勝 富士大学A 3-0 胆沢クラブ 決勝 富士大学A 3-0 水沢クラブ



全日本卓球選手権大会

平成17年1月13日(東京体育館)

男子

マシングルス

1回戦 南 克幸(富士大) 3-0 浅井貴裕(静岡・清水国際大)

伊藤孝耶(富士大) 3-0 川口陽陽(高知・専大)

2回戦 南 克幸(富士大) 2-3 日高達也(明治大)

1回戦 南 勝幸(富士大) 3-0 浅井貴裕(静岡・清水国際大)

伊藤孝耶(富士大) 3-0 川口陽陽(高知・専大)

マダブルス

1回戦 南克幸・伊藤孝耶(富士大) 3-0 吉田勇作・山本成将(愛知・トヨタ自動車)

2回戦 南克幸・伊藤孝耶(富士大) 1-3 谷口隆介・福原太一(埼玉工業大・埼玉)

女子

マダブルス

1回戦 土田美幸・佐藤苗(富士大) 3-2 藤田いすみ・井手沙織(京都・立命館大)

鈴木祥恵・吉田・瑞江(富士大) 2-3 野末知恵・巖 虹(静岡・アスモ)

2回戦 土田美幸・佐藤苗(富士大) 1-3 芳村友絵・西村輝美(愛知工業大・愛知)

マ混合ダブルス

1回戦 南克幸・鈴木祥恵(富士大) 3-2 鈴木俊光・八木真由美(埼玉工大・日女大)

伊藤孝耶・佐藤苗(富士大) 1-3 大野勇・萩原朱音(堀切村教養)

2回戦 南克幸・鈴木祥恵(富士大) 1-3 鈴木保行・宮里美奈子(金城大・石川)

第74回北日本卓球大会

平成17年1月23・24日(花巻市総合体育館)

男子団体2年連続 4度目の優勝

決勝 富士大学 3-1 東北学院大学

マ男子シングルス

優勝 南 克幸(3年)初優勝

第3位 小田桐憲仁(富士大職員)

決 勝 南 克幸 3-2 青木(山形・リバービル長井)



スキー実習

2月8日～10日の3日間、安比高原スキー場において、体育実技の集中講義であるスキー実習が2泊3日の日程で行われた。

到着後の開講式では、82名の受講生へ学長先生より激励の言葉をいただいた。その後、グレンデへと向かい、それぞれのレベル毎に13のグループに分かれ、実習が開始された。

上級・中級のグループは、雪上に綺麗なシュプールを描きながら、気持ち良さそうに滑り、初級のグループは、全身真っ白になりながら「スキーって、おもしろーっ！」などと笑いながら、楽しそうに滑っている

姿が印象的であった。この3日間、一人も病気や怪我をする事なく、実習時はもちろんのこと、朝の体操・ミーティング・食事等を通じて、集団行動の大切さ、またそれにおける役割や責任のあり方を学び、新しい事へ挑戦するチャレンジ精神を養い、さらには友達の輪を広げる事で、大変充実した実習となった。



小沢みさきさん(1年) 日本代表候補選手に選ばれる

日本ホッケー協会は平成16年12月22日、2006年アジア大会、08年北京オリンピックに向けた女子日本代表候補25人を発表した。その中に、本学から小沢みさきさん(1年)が選ばれた。これまで年代別での代表入りはしているが、フル代表候補は初めて。



西田範次監督は「闘争心あふれるプレーが評価されたのだと思う。常にゴールを狙い、70分間走り続けられる体力も魅力だ。将来的に日の丸をつける選手と感じていたが、こんなに早く選ばれるとは」と喜んで

日本代表候補に選ばれて…

女子日本代表シニアホッケーチームの候補選手として選ばれ、候補選手全員が日本代表選手として経験されている方々で、その中で一緒にプレーできる事は、自分にとってとても良い経験をさせていただいていると感じています。

私は、4年後の北京オリンピックを目指し、2006年に開催されるワールドカップに向けて頑張っています。私には、メンタル面・技術面・体力面でまだまだ足りない所があるので、自分の目標をしっかりと持ち、今、自分の課題となっているものを一つ一つクリアしていきたいと思います。また、日本代表である前に、富士大学の代表であることを忘れず、人間としても成長していけるよう頑張りたいと思います。

スポーツセンター利用状況

屋内の運動場として整った設備と広い床面積で知られるスポーツセンターが建設され、6年が経ちます。

平成16年度は、前年度と比較すると本学のクラブ団体が増加したこともあり、学内の利用者数が多くなっていることが目立ちます。また、学外者の利用者数も年々トラック(陸上競技)の利用を中心に増加の途を辿っています。建設当初は花巻・北上市民の利用が主でしたが、最近では隣県(青森県・秋田県・宮城県)からの利用も多くなっています。屋内という事もあり、降雨時・冬期間の利用が可能という事で若手県内はもちろん広いエリアでスポーツセンターは人気をよんでいます。

■平成16年度学内・学外の利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
学内者数	7,954	5,764	6,135	6,080	3,965	5,690	8,234	7,623	5,131	10,304	12,899	79,776
学外者数	1,149	3,682	1,894	6,518	910	1,502	2,480	1,043	3,176	2,311	2,085	26,750

■平成15・16年度スポーツセンター利用状況比較

